

空の里だより

NPO法人地域福祉支援センター ちいさな手 第8号

- 2017 ちいさな手上半期
出来事コレクション
- ちいさな手と私
- ちいさな手のお仲間
- ちいさな手 スタッフ紹介
- コラム「風の言の葉」
- 時の旅 今昔

【第8号】

2017年10月31日 発行



ちいさな手
2017上半期

出来事コレクション

2017年前半戦も、楽しい出来事が盛りだくさん！
ここから一度、振り返ってみましょう。



5月



端午の節句に!!

6月



今年はイチゴが大豊作でした♪



浅野さくらさん・晴太朗くん親子、朝のイチゴ積み。

7月



7月2日、Run伴(とも) 認知症の理解を求めて、全国縦断キャンペーンマラソン「新得編」に参加。



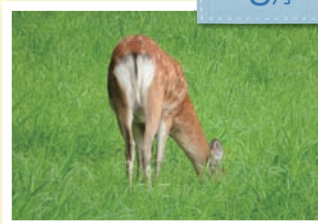
小松愛さん廣太くん親子もがんばる!



今年の花壇コンクールは「奨励賞」に輝きました。来年はもっと上の賞をねらいます!



8月



ちいさな手畑横に現れた鹿。お尻はかわいいのですが、今年も少し作物が食べられました。



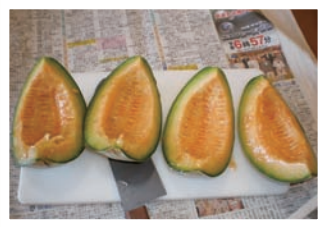
9月



9月6日、今年一番大きなプリンスメロン！ 顔くらいありますね(笑)。



切ってみたら完熟でした!!



8月22日 今年度初めての「たまたま箱運営推進会議」。
金村さん夫婦、仙座さん、横倉さん、小田島さんに集まっていたいただき、たまたま箱の運営について話し合っていました。



9月13日、今年も枝豆も、ささぎも、たくさん採れました！



鈴木のゆりさん、イモの収穫お手伝い♪ 今年は大豊作でした！ 背中でおんぶされているのは、浅野そら子ちゃんでした。「母ちゃんのお付き合いも大変です」。



ちょっとコーヒープレイク。



ちいさな手と私



かなむら まさる
利用者 **金村 優**さん(95歳)

小さな頃から母親の言うことをよく聞いて育った。「ご飯はゆっくり噛んで」「好き嫌いはダメ」「物を大事に」。その教えをしつかり守ってきたおかげで、95歳まで生きてこられたと思っている。今の世の中は物を大事にしないことが多い。豊かな時代になったからこそ、物事に感謝し生きてゆきたいものである。

私の人生の歴史は新得町役場と共にある。昭和13年に入職以来、定年になるまで、町民の皆さんが住みよいまちづくりを目指して仕事に没頭してきたつもりだ。妻と出逢ったのも新得町役場だ。職場内で一番きれいな女性をめぐるとたと自負している。戦争で捕虜になったりと、大変な時代もあったが、息子3人、のちに孫4人にも恵まれて実に幸せな人生を送ってきたのではないかと、最近ではそう思う。

今はデイサービス「たまたま箱」に通っている。ここは申し分ない。嫌なところがないのもないのだ。今年の5月から通っているが、まさかこんなに良いところだなんて知らなかった。足のマッサージまでしてくれて、ここに通うことが今最大の楽しみだ。いつまでも、楽しみがある人生は本当にありがたい。



昭和13年に新得町役場に入職して以来、「町民のため」と必死に汗を流してきた。



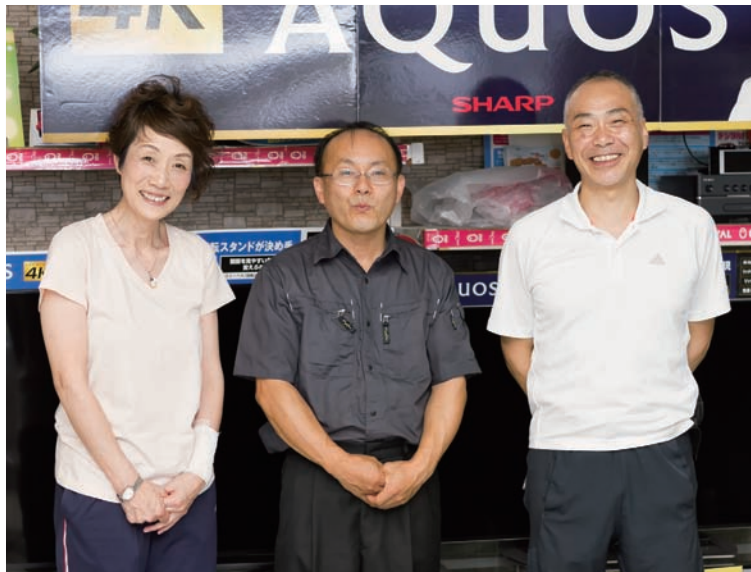
達筆の主は、妻の妙子さん。なんと書道の先生でもあるのだ。



写真が好きで、子どもからもらったカメラをずっと使っている。



妻の妙子さん、スタッフ朝野と一緒に。



新得町の街の電気屋さん「ホットショップ新得店」の店長として働いている平江和之さん。2代目店主として店を引き継いで12年ほどになる。ちいさな手でもよくお世話になっていて、必要な電化製品があった時には、いつも安いものを探してくれるので大助かりだ。

困りごとがあれば、すぐに相談しやすいのが街の電気さんのいいところ。たとえば、普通、電化製品に関する相談のことをイメージするだろう。しかし平江さんは違う。高齢者の方から特に人気がある平江さんだが、電気関係に関わらず、トイレのドアノブ修理や神棚の設置、岩塩の購入を頼まれたり、ネズミ退治を任せられたことも。人が良すぎて、頼みやすいのでしょうか。平江さんはまさに、新得町になくてはならない電気屋さん(?)なのです！

ホットショップ店主 平江和之さん

ちいさな手のお仲間

ホットショップ 新得店



新得町本通南3丁目 TEL0156-64-5150



平江さんより

ちいさな手は、いつも地域の利用者さんにごまめに対応していて、すばらしいと思います。まるで家族の一員みたいに利用者さんと接しているのが伝わってきます。

また、昨年の台風の時に私の店舗が浸水したのですが、その時に清野さんがジュースを届けてくれたんです。気にかけて立ち寄ってくれたことが、とにかく嬉しかったですね。清野夫妻って、そういう人たちなんです。





ちいさな手

スタッフ紹介



訪問介護職員

小松愛さん

新得町出身



「コンビニでバイトをしていた時に、祥子さん(理事長)と一緒に働かない?と声をかけられたんです。何をやる職場かもわからずに、よろしくお願ひします!って返事しました」。はつらつとした声で話してくれたのは、3人の男の子を育てながら働く小松愛さん。祥子理事長曰く、小松さんのことは幼い頃から知っていて、コンビニで一生懸命働く姿を何度も(1日に3回行ったことも)観察して、この子ならいける、と確信したのだとか。

直感的に返事をしたものの、最初は「介護とは何ぞや?」から始まった。しかし、兎にも角にも、やると決めたら責任感が強いのが小松さん。ちいさな手で手伝いをしながら帯広の学校に通い、資格を取った。そして現在、ここで働いて丸2年。「だいぶ広く色々なことが見えるようになってきました。10代20代の頃は、そんな責任の重い仕事はぜったいにやらないと思ってましたが、実際にやってみるとしっくりきました。大変だけど、それ以上にすごく楽しくて天職だと感じています。定年までここで働こうと思いませんし、いずれは祥子さんを私が見るんだと勝手に思っていますね。」持ち前の根性と愛嬌で、これからも頑張っていく。



左から亀太くん(中2)、廣太くん(小1)、健汰くん(小5)。柔道少年団に入団していて、いくつもの大会でメダルを獲得している。デイサービスのみんなにも応援団になってもらい、勝利の報告をしている。

DIYが趣味の小松さん。今一番ハマっているのは、ジェルネイル。仕事と3人の子育ての合間をぬって、自分の時間を作るようにしている。



ガゼ 風の言の葉は

私は、幼い頃から住み慣れた町の道を行き来して仕事をしている。

今回は、そんな道から見える景色の移ろいと時の流れから感じたことを書いてみたい。

我が町を構成する山や川など大まかな造作は、遠目には昔のまま変化はないように見えるが、よく見ると生活に密着した建物や通り、露地や草木など、細々としたものが子どもの頃から比べるとずいぶん変わったなど感じる。ま、生活する人が代わっているのだからそれに伴って景観が変化するというのも当然といえば当然ではあるが、それにしても手入れのされていない朽ちるにまかせた建物や土地、人の気配のしない空き家、シャッターが閉められたままの本通り商店街、枯れた庭木や街路樹などが目に映り、寂しいけれど町としての斜陽を感じざるを得ない。この状況を人間に例えると、高齢期にあたるのだろうか。子どもの頃の町の風景を断片的に思い出すと、どこを切り取っても人が多く賑やかで活気があり、将来が洋々としている青年期のような印象がある。私が成長した時期は、まさしく昭和の高度成長期と重なる。その当時の、写真や映像を観る機会も多いが、確かに容姿は古臭く、インフラが未整備で貧しさと隣り合わせている雰囲気伝わってくるが、妙に賑やかさと活気が感じられる。

幕末の思想家吉田松陰が「幼くして亡くなる人、長く生きながらえる人、どんな人生にも必ず春夏秋冬がある」と人の一生を表現している。

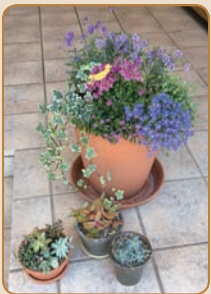
この表現を今の我が町に当てはめるとらば、さしずめ「秋」、しかも「晩秋」に近いのではないだろうかと思ったりもする。

この感覚は、おそらく今の自分の年齢や人生を重ね合わせてイメージされるものでもあると思うが、町としての体は確実に勢いとエネルギーを失いつつあるように思えてならない。かといって、不老不死の葉や若返る葉もないように、時代を過去とそっくりの「春」か「夏」に戻すこともできることではない。今日の次には明日、明日の次には明後日と時は止まらず前（未来）に向かって形を変えて流れてゆく。

肝心なことは、現状があるがままに受け止めて、この時期（秋から冬）にできることを見極め、一人ひとりが町の未来を想像（創造）することができるかどうかではないだろうか。

活気やエネルギーのなくなったこの町にも、私たちがそうであったように「春」や「夏」を過ごしている人たちもまた同居していることを忘れてはならないと思う。

（光）





兄弟婦と旅行。厚岸の国泰寺にて、義姉の節子さん(右)と写した1枚。



約20年後



ちいさな手の玉手箱に通って4年になる洋子さん(左)。月曜日の花札が楽しいそうです。若い頃から慕ってきた節子さんとは、今も仲よし！

利用者
春木
洋子
さん

今昔

時の旅
いまむかし

過去があるから今があり、
今があるから未来がある。
愛燦燦とふりそぐ
とっておきの一枚をお届けします。

建造物
ちいさな手
事務所



ちいさな手「地鎮祭」の写真。
撮影日は2009年5月11日です。



約8年後



素敵な利用者さんや頼もしいスタッフに恵まれ、
ちいさな手は今日も元気に活動しています。



特定非営利活動(NPO)法人
地域福祉支援センター

「ちいさな手」



〒081-0038 北海道上川郡新得町西3線50番地15
T E L 0156-69-5560 F A X 0156-69-5561
相談専用 0156-69-5570

□E-mail nposcswc@chive.ocn.ne.jp □HP <http://npochiisanate.jimdo.com/>